

**製品名: RAGE ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16864**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AGER
別名	AGER; RAGE; Advanced glycosylation end product-specific receptor; Receptor for advanced glycosylation end products
遺伝子 ID	177.0
SwissProt ID	Q15109
免疫原	抗血清はヒト RAGE 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 133-182

**背景**

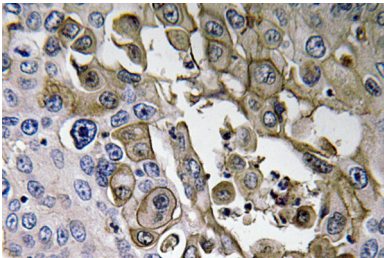
この遺伝子によってコードされる終末糖化産物（AGE）受容体は、細胞表面受容体の免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。

これは多リガンド受容体であり、AGE 以外にも、恒常性維持、発達、炎症、そして糖尿病やアルツハイマー病などの特定の疾患に関与する他の分子と相互作用する。この遺伝子には、様々なアイソフォームをコードする多くの選択的スプライシング転写バリエーションや、タンパク質をコードしないバリエーションが報告されている (PMID:18089847)。[RefSeq 提供、2011 年 5 月]、機能: 終末糖化産物 (AGE) の相互作用を媒介する。AGE は酵素的にグリコシル化されたタンパク質であり、加齢に伴い血管組織に蓄積し、糖尿病ではその蓄積速度が加速する。アミロイド  $\beta$  ペプチドの受容体。類似性:Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。類似性:Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 2 つ含む。組織特異性:内皮細胞。、

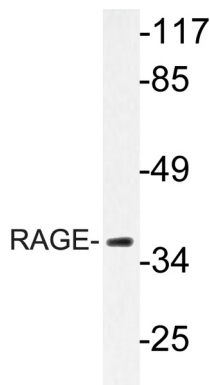
## 研究分野

神経科学

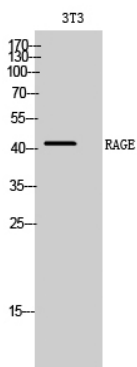
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における RAGE 抗体の免疫組織化学分析。



RAGE 抗体を使用した LOVO 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 希釈の RAGE ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析